

半導体国際会議 GAMS/JSTC 開催報告

2014年10月13日（月）～10月17日（金）：日本・福岡

半導体分野では通商、環境、知的財産権等の国際的課題に関し、半導体業界として共通に対処するための国際協議・調整のスキームが確立しています。2月のJSTC会合、5月のWSC/JSTC会合、10月のGAMS/JSTC会合^(*1~3)があり、日本、米国、欧州、韓国、チャイニーズタイペイおよび中国の世界6極が定期的に一堂に会し種々の問題解決にあたるように運営されています。

JSTC会合、WSC/JSTC会合での議論を通して、業界としての共通課題として認識し、政府に要望すべきものについては、声明という形となり、GAMS/JSTC会合で6極の政府に検討していただくことになります。検討の結果のフィードバックを受け、さらに必要な場合は民間で検討を重ねるといった形になります。これは半導体業界特有なもので他に類をみないユニークかつ有効な仕組みとなっています。

昨年10月に福岡にてGAMS/JSTC会合が開催されましたので、そこでの活動をご紹介します。10月の会議においては民間だけの会議としてJSTCが、また、政府、民間の合同セッションの会議と政府間だけの会議としてGAMSが開催されました。また、JSTCの配下には3つのCommitteeと多数のタスクフォースによって構成されています。

暗号認証に関する専門家セミナーの開催

今回の会議において初めて、官民合同で暗号認証に関する専門家のセミナーが開催されました。日本政府の議長のもと、6極の情報セキュリティ、暗号、貿易の専門家、CCRA^(*4)議長ら総勢80名が出席し（日本からは経産省、IPA^(*5)、JEITAが出席）、暗号認証の相互認証スキーム（CCRA、SOGIS^(*6)）、6極の暗号認証制度の内容や運用実態等について各々プレゼンし、意見交換を実施致しました。テクニカルな内容を含む暗号の問題について、政府機関、民間の専門家が集まり、インセンティブな議論ができ、有意義な機会となりました。相互理解に向けて重要なステップとなったと理解しています。

JSTC の開催

IP Committee：営業秘密、特許の質、特許訴訟の濫用等について議論されました。

ESH Committee：資源保護、化学物質、PFC（perfluorocarbon：地球温暖化ガス的一种）の3つのワーキンググループからなり、様々な環境問題について話し合いました。その他、貿易とイノベーション原則、マーケットレポート、景気刺激策、輸出及び輸入規制、貿易円滑化、WSC2.0について議論されました。

GAMS の開催

つぎに主な政府間で話し合われた項目について紹介します。通商関連ではマルチコンポーネントIC（MCOs）^(*7)、貿易円滑化、関税分類の解釈の調和、また、知財関連では実用新案、特許訴訟の濫用について話し合われました。実用新案におきましては、実用新案法が各地域で異なっており、改善につながる可能な取り組みを検討することを産業界が推奨していることが留意されました。また、暗号認証セミナーの結果を踏まえて今後の進め方について議論がされました。その他、景気刺激策、特許の質の向上、営業秘密保護、半導体市場の成長に向けたイニシアティブ、模倣品対策、地球環境保護について、WSCの提言に基づき議論されました。

このように広範な半導体産業にかかわる事項について検討をしております。

今後も業界における様々な問題に取り組んでいきます。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

- (*1) JSTC (Joint Steering Committee)
企業委員会による実務レベル会合
- (*2) WSC (World Semiconductor Council)
半導体企業トップレベル会合
JSTC 提案を審議・承認し且つ必要に応じて各国政府レベルに業界要望を掲げる
- (*3) GAMS (Government/Authorities Meeting on Semiconductors)
政府レベル協議で WSC 要望を審議決定する。
- (*4) CCRA (Common Criteria Recognition Arrangement)
- (*5) IPA
独立行政法人 情報処理推進機構。
- (*6) SOGIS (Senior Officials Group Information Systems Security)
- (*7) MCO
マルチコンポーネントIC
技術の発展に伴い、モノシリックICと共に能動素子、受動素子、その他の部品が同一パッケージ内に同梱された新型半導体のこと。